



いしかわ  
学生定着  
推進協議会

(参加大学)

金沢大学 金沢工業大学 石川県立看護大学 石川県立大学 金沢星稜大学  
北陸大学 金沢学院大学 金城大学

(協力大学)

北陸先端科学技術大学院大学 金沢美術工芸大学 金沢医科大学 北陸学院大学  
北陸学院大学短期大学部 金城大学短期大学部 芝浦工業大学

(参加自治体)

石川県 金沢市 七尾市 小松市 輪島市 珠洲市 加賀市 羽咋市 かほく市  
白山市 能美市 野々市市 川北町 津幡町 内灘町 志賀町 宝達志水町  
中能登町 穴水町 能登町

(参加企業・団体等)

石川県商工会議所連合会 石川県商工会連合会 石川県中小企業団体中央会  
石川県鉄工機電協会 石川県繊維協会 石川県食品協会 石川県情報システム工業会  
石川県産業創出支援機構 特定非営利活動法人角間里山みらい 金沢森林組合  
株式会社小松製作所粟津工場 公益社団法人大学コンソーシアム石川  
能登キャンパス構想推進協議会 株式会社北陸銀行 株式会社北國銀行  
株式会社北國新聞社 株式会社PFU 社会福祉法人佛子園

※順不同、2016年8月末現在



@ishikawa.dream



事務局・お問い合わせ先  
金沢大学総務部地域連携推進室  
〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5271 FAX 076-234-4045  
MAIL:coc@adm.kanazawa-u.ac.jp

掲載した情報は、平成30年3月末時点の情報です。



いしかわ  
学生定着  
推進協議会

いしかわで  
働こう

夢は、ここにある。

# いしかわで、夢をカタチに。

金沢大学は、国からの助成を受け、県内の7つの大学や自治体、企業と連携し、インターンシップを中心とした教育を実施することにより、学生を地域に定着させ、地域の持続的発展に資する取り組みをスタートさせました。この取り組みは、石川県を始めとする、自治体との総合戦略とも密接に連携したものであり、まさにオールいしかわ体制で実施するものです。様々な縁があってこの地で学び過ごす学生が、「夢」と「志」を持って「いしかわ」に定着することにより、活力にあふれ魅力ある地域を創出できると信じております。

いしかわという地域をフィールドとした学びを推進することにより、人間力を備えた学生が地域に定着し活躍する、「いしかわモデル」を皆さまと一緒に構築できればと考えております。

いしかわ学生定着推進協議会 会長  
金沢大学長 山崎 光悦



石川県知事  
谷本 正憲

石川県は、全国的に見ても高等教育機関の集積が高く、県内はもとより県外からも多くの学生が進学しています。県ではこの強みを活かし、各大学や県内市町、本県企業と協力してインターンシップの強化や、若手社員と大学生との交流会による企業の魅力発信など様々な取り組みを行い、県内就業率を向上させ石川の活力向上につなげていきたいと考えています。



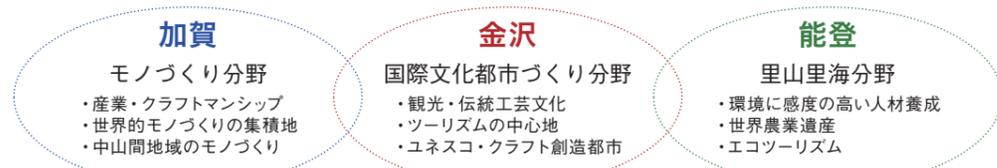
社会福祉 法人 佛子園 理事長  
雄谷 良成

わが国が直面する未曾有の人口急減・超高齢化。地域がそれぞれの特徴を活かし自律的で持続可能な社会の実現を果たすには、若者から高齢者に至るすべての住民が何らかの役割を果たしていくことが重要。全国有数の総合大学である金沢大学を中心に県内各大学が結束し地域のあり方を考える時、必ず新しい道が開けるものと若者の活躍を期待する次第です。

## 若者の県内定着に向けた3つの取組み 地域思考型教育

なぜ石川に住むのか	ICT教材「地域創生概論」の開発・実施 地域理解促進とライフ・キャリア・デザインのきっかけを付与します
何を達成するのか	共創インターンシップの開発・実施 価値観の明確化と地域企業等に関する理解の促進を図ります
どうやって達成するのか	起業環境構築「INNOVA-EMOTION」 起業プロセスの経験と、夢と勇気の獲得を目指します

いしかわを、地域特性や課題が異なる3つのフィールドに分類し、若者の地域定着を促進します



## 県内就業率 10%向上に取り組めます。

※平成26年度比。平成31年度までの事業目標値。

## 実施体制



金沢大学 COC+事業の実施にあたっては、学長のリーダーシップのもとに、学長を本部長とする「COC+本部」を設置しています。社会貢献担当理事が本部長代理として実務を担当し、事業全体の進捗や、教育内容等を掌握します。

本部長代理とともに事業全体の推進に大きな役割を果たしているのが、「COC+推進コーディネーター」です。学内全体のコーディネーションはもちろんのこと、学外の自治体や起業、他の参加大学との協議や調整を担当します。

金沢大学 COC+事業で推進する「地域思考型教育」の柱となる3つの教育 (ICT教育、インターンシップ、起業の場) について、それぞれに理事等を部門長とする組織を置いています。各部門を関係事務部がサポートし、大学組織全体で事業推進に取り組んでいます。

また、学生の地域定着を支援するため、地域定着支援室を設置し、学内のキャリアカウンセラー (CDA) 有資格者を兼任で配置しています。



COC+推進コーディネーター  
宇野 文夫 特任教授

新聞記者を経て、1991年北陸朝日放送報道制作局長、2005年4月から金沢大学地域連携コーディネーター、2011年5月から特任教授。里山プロジェクト、能登半島里山里海自然学校、能登里山里海マイスター育成プログラムなど、地域共創のプロジェクト構築等多数の実績がある。

## いしかわ学生定着推進協議会

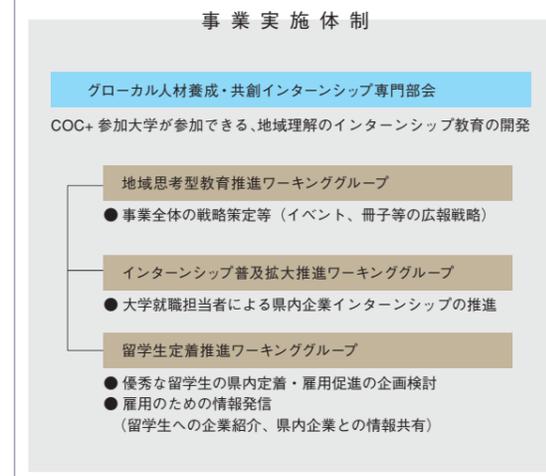
金沢大学 COC+事業の一環として、2016年1月20日、県内全自治体 (※1) と8大学 (※2) が「石川県における学生定着の取り組みの推進に関する協定」を締結。あわせて、県内の8大学、自治体、18の企業・団体等の連携により、「いしかわ学生定着推進協議会」が発足。オールいしかわ体制で石川県内の大学生をバックアップし、学生の県内定着に取り組めます。

※1 石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町  
※2 金沢大学、金沢工業大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢星稜大学、北陸大学、金沢学院大学、金城大学



## いしかわ学生定着推進協議会

会長: 金沢大学長 / 副会長: 金沢工業大学長 / 会員: 事業協働実施機関の長



金沢大 COC+事業の協働機関が一体となって取り組むため、「いしかわ学生定着推進協議会」において事業推進のための様々な方策等について協議しています。教員、自治体の協働による教育開発・実施のため、事業では3つのワーキンググループを設置し、金沢大学の COC+推進コーディネーターがその座長を務めています。これらのワーキンググループと、県内の全ての自治体・大学が参加する「グローバル人材養成・共創インターンシップ専門部会」が連携することにより、地域のニーズに合わせた地域思考教育の実現を目指します。



県内有識者を集めた留学生定着ワーキンググループ (左) と、企業担当者と留学生が直接対話・交流するワークショップの様子 (右) 実施の様子 (平成29年6月15日 ホテル金沢)

# いしかわで「働く」へ

いしかわで生きる。この地で人と出会い、「夢」と「志」を「カタチ」に変えて、これからの「いしかわ」をつくる。いしかわから世界へ、いしかわの未来を担い、地域の活性化や国際化においてリーダーシップを発揮できる人材の育成・輩出を、いしかわ学生定着推進協議会は目指しています。



## いしかわを「知る」

地域創生概論 対象：1年生 年間5,500人受講

石川県内の大学に通う学生に、もっと「いしかわ」を知ってもらいたい。この地域で暮らすこと、働くことについて考えてもらいたい。地域の人や卒業生が、県内の大学生に「いしかわの地域創生」について思いを伝える映像教材「地域創生概論」を作成しました。

いしかわ学生定着推進協議会の参加8大学では、この教材が新入生の必修科目の一部として位置づけられ、すべての新生が視聴します。いしかわの地方創生のカギを握るのは、自分たち若い世代だという気づきと、いしかわの魅力発見につながります。

## いしかわで「出会う」

共創インターンシップ 対象：2,3年生 年間2,000名参加

卒業後の進路を考えるのに、早すぎるということはありません。どんな選択肢があるのか、どんな働き方があるのか、そして、どんな人が、どんな生き方があるのか—「共創インターンシップ」では、人生の先輩に「会って」「聞いて」「話す」場を、いしかわの学生に提供します。

実際の就業体験(インターンシップ)は、地元企業はもちろん、個人事業主や地域で活動する各種団体やイベントまで、業種や形態を問わず企画実施しています。「就業」だけでなく、インターンシップ先の地域活動に参加し、地域コミュニティでの「暮らし」を体験することもサポートします。

## いしかわで「始める」

INNOVA-EMOTION 対象：2~4年生 4年間で100名輩出

いしかわで何ができるか—考えるだけでなく、提案したい、始めたいという学生の思いに、いしかわ学生定着推進協議会は応えます。起業のために必要なことは何かを知り、身に付けるための「いしかわ未来アカデミー」を開講しています。

また、いしかわでの起業プランを、先輩起業家や金融機関等に提案するステージとして「INNOVA-EMOTION」を用意しています。

アカデミーで得られるもの。それは、大学の授業だけでは得られない「起業体験」と、同じ志を持つ「仲間」です。

学生の「働く」ことの視野を広げ、「生きる」こととのバランスについて考える機会と場を創出します。

### ■地域創生に求められる能力

	発見力	分析力	展開力	行動力	国際力
地域創生概論	💡	💡			
共創インターンシップ	💡	💡	💡	💡	💡
INNOVA-EMOTION	💡	💡	💡	💡	💡



地域を知り、その価値を学ぶ ICT教材「地域創生概論」

地域を深く理解する いしかわで学ぶ未来可能性

既存の地域志向教育に、地域を深く理解し主体的に地域資源の創出や課題解決を考えるアクティブラーニングを融合した教育を実施。達成を目指す5つの能力を備えた地域人材を育成・定着させるものです。

いしかわ学生定着推進協議会での意見交換を踏まえ、より地域のニーズに合致した教材として、平成28年6月に「いしかわで学ぶ未来可能性(地域創生概論)」をWeb上で開講。開講にあたっては「JMOOC」のプラットフォームを活用し、金沢大学1年生の必修教材としたほか、地域理解の推進のため、一般の受講生にも公開しました。

制作にあたっては、地元テレビ局4社の共同体制により地域の映像素材を最大限活用するとともに、いしかわ学生定着推進協議会長である金沢大学長、社会貢献担当理事の監修のもと、COC+コーディネーターが中心となってプログラムを構成しました。

平成29年度の開講にあたっては、地域医療についてのコンテンツを追加。地域の大学・学生らのニーズに合わせ、今後も見直しを行います。システム面では、本学独自のICTシステム開発により、受講管理をしやすくなりました。また、金沢市とのスマートフォンアプリの共同開発により、受講状況の確認がしやすくなり、教員、学生の双方が使いやすいものとなっています。



一般の方も受講可能!

石川県内の大学生・大学教職員向け  
<https://study.ishikawadream.org/>

一般向け (Fisdom)  
<https://www.fisdom.org/>



リアルな「人」と「企業」の魅力に触れる 共創インターンシップ

出会っていいんじゃないプロジェクト

多様な「人生観」や「価値観」を学び、自身の「志」を見つけるワークショップ

石川県内で活躍する県内大学の卒業生をゲスト講師に迎え、多様な人生観、職業観について学ぶとともに、自己の「わくわく」を発見するワークショップを実施、参加学生は楽しみながら、自己理解を深めます。

平成28年度は、10月及び12月に開催。合わせて66名の学生が参加し、他者とのコミュニケーションを通して客観的に見た自分を知り、言語化することで自己理解を深めました。



平成28年10月開催時の参加者たち



ワークショップの様子



熱心に話を聴く学生の姿

I LOVE いしかわ学生創出会議

地域サポーター体制の構築と学生との交流

COC+事業では、地域で夢と志を持って活動する、いしかわの魅力人材(以下、地域サポーター)の協力体制を構築しています。また、学生が地域サポーターとの出会いを通して、地域の魅力や文化についての理解を深め、自身のライフスタイル(=地域で生きていくこと)を考える場として「I LOVE いしかわ学生創出会議」を開催しています。平成28年度は、4回の会議に延べ125名の学生と24人の地域サポーターが参加しました。会議では、地域サポーターが、それぞれの仕事に就いたきっかけ、仕事への思いや人生との向き合い方(ワークライフバランス)について学生に語ります。将来について多様な選択肢があることを認識するきっかけを作り、地域への興味や新しいことへの挑戦する意欲を促進します。



第1回(平成28年12月開催)会場の様子

いしかわ共創インターンシップ

地域サポーターと学生が共に活動し、地域の未来を創造する体験型プロジェクト

平成29年度から開始した「いしかわ共創インターンシップ」は、地域の人と一緒にいしかわの未来を考え、行動することをインターンシッププログラムの中心に据えています。いしかわの様々な地域で夢と志を持って活躍する人生の先輩とアイデアを出し合いながら、未来の地域を創造します。



地域の未来について話し合う参加者たち

国内最大級規模!

いしかわインターンシップフェス

石川県(ジョブカフェ石川)といしかわ学生定着推進協議会が、県内企業への学生インターンシップ(就業体験)を推進することを目的に平成27年度から開催しており、国内最大級の規模で実施しています。

平成29年度は、金沢大学生280名をはじめ、県内外から1600名以上の学生と、200社以上の企業・団体が参加し、過去最高の盛り上がりとなりました。毎回、学生が運営スタッフとしても参加しており、大学・自治体・企業と学生が協働で創り上げています。



「いしかわ」ポーズでバチリ!

Reach KANAZAWA



[www.reach-kanazawa.com](http://www.reach-kanazawa.com)

いしかわの大学生と留学生が協働で運営する「Reach KANAZAWA」は、金沢に関心を持っている外国人に、いしかわの大学生が、金沢といしかわの魅力伝えるプロジェクトです。

訪日を計画中の海外トラベラーは、ウェブサイト「Reach KANAZAWA」でいしかわ滞在を楽しむための様々な情報に触れることはもちろん、日本人学生と留学生で構成される「トモダチガイド」に、プライベートツアーのコーディネートと観光ガイド(有料)を依頼することができます。運営スタッフ、ガイドの学生は、ボランティアではなく、対価を得るアルバイトスタッフです。このプロジェクトは、学生が「歴史都市・金沢」を拠点に、自分たちの住む街の魅力を全世界に発信する「仕事」を体験する絶好のチャンス。同時に、いしかわの魅力について考え、話し合う場として提供しています。

@ReachKANAZAWA

## 地域発アントレプレナーの養成 INNOVA-EMOTION

### 学生のための起業塾 いしかわ未来アカデミー

学生時代から成長角度を引き上げる

地域資源の活用と課題の解決に資する学生のための起業塾として、平成28年8月に「いしかわ未来アカデミー」を開講。全22回の講義と2回の特別講義等を実施しました。複数のステップを経て、受講生は実際に起業を経験します。地域の未来を創る意義を考え、アイデアを生み出し、その実現のためのスキルを得る。これからのいしかわを創る、学生のためのアカデミーです。初年度は23名が修了。平成29年度は37名が受講しています。

いしかわ未来アカデミー カリキュラム

	学習テーマ	起業体験
経営スキル 学習・起業 体験	第1 クール 事業計画書、業計 画書/アイデアの出し方等、 事業実施スキル	Eコマース
	第2 クール 戦略論/マーケティング/ プライシング等、利益拡大 スキル	対面販売
	第3 クール 経営者の役割/リーダー シップ/営業等、人を動かす スキル	いしかわの 課題解決
卒業後の事業 プラン作成	自身の権限 事業計画の磨きこみ	

@shikawa.mirai.academy



平成28年10月開催時の参加者たち。



ワークショップの様子。



熱心に話を聴く学生の姿。

### 起業の場づくり INNOVA-EMOTION

2017年3月、既存の概念にとらわれない、学生の柔軟な感性と情熱によるイノベーション発出の場を地域に構築するため、若者と地域の共創による起業イベントとして「INNOVA-EMOTION2017」を開催しました。

シリコンバレーから招聘した講師による基調講演、ベンチャー人材の養成等に取り組む起業家による事例報告のあと、いしかわ未来アカデミー修了生を含む学生による、地域の課題解決を目指す起業プレゼンテーションを実施しました。学生の起業プランに対しては、石川県ゆかりのベンチャー企業や、県内金融機関、金沢大学の教員らから様々なアドバイスがあり、発表した学生にとって、これからの起業に向けての貴重な経験となりました。

また、開催に際し、学生がボランティアの運営スタッフとして参加。当日までの広報活動や会場での受付、撮影など、様々な作業を担当しました。

地域の未来をどう創るか、どう関わっていくか。様々な立場からの「学生の力」を発信できる場となりました。



@InnovaEmotion

#### INNOVA-EMOTION 2017 学生プレゼンタイトル

- ・日本を健康大国に！～あなたにあった健康を～
- ・KINPAKU PERSON PROJECT internship for abroad student
- ・育成ゲーム型の新しい学び「Learning Cube」
- ・コンパクトな管内作業ロボットの開発

- ・起業家シェアハウス～起業の街金沢へ～
- ・少しでも、病気と上手に闘いたい～患者同士が助け合えるシステム～
- ・「OMATSURI」今日からYOUも立派なサムライ
- ・石川県・まちの先生プロジェクト



## 地域定着を促進する派生プロジェクトも推進します

教育による地域定着に確実に繋げるための「派生プロジェクト」の必要性・・・東京一極集中を是正し、地域に学生を定着させるには、当初の事業計画に基づいた地域を理解する教育の他、真摯に地域の声を受け止めながら、様々な地域定着に資するプロジェクトを同時並行しながら、地域で実施する必要があります。

その理由として、学生の地域への定着は、地域側の受け入れニーズに対応した雇用があって初めて、成立するものであるため、計画した教育の実施に加え、把握した「地域ニーズ」を速やかに事業に反映させ、それぞれの取り組みから地域定着に関する数値を少しでも積み上げることにより、10%定着の達成に向けて努力しています。

また、そうして開発した取り組みについて、COC+の補助金終了後も、事業継続する必要があります。事業実施するために、民間企業との協働プロジェクトも開始する必要があります。それらの取り組みをCOC+の教育と連携させて複合的に実施することにより、県内衆力率の10%向上に取り組んでいます。

### 「地域ニーズ把握」と「定着事業」の実施

平成27年3月の北陸新幹線の金沢開業以降、石川県の認知度の飛躍的な向上と観光客の増加が続いています。また、金沢港へのクルーズ船寄港も増えており、県内はインバウンド誘客への対応が求められています。これに対応するため、金沢大学ではCOC+と連携して、平成29年6月1日に「観光地域づくりマスター」プログラムをスタートさせ、同年10月には観光人材の地域定着に資する「観光人材育成コンソーシアム」を設置しました。このことにより、平成31年を目標に、「いしかわ」の観光産業での卒業生の就職・受け入れ態勢の構築と、地域が求める人材養成が融合した地域定着事業を開始しました。

さらに、雇用創出やグローバル戦略の観点からも、企業の海外展開を支援できる人材の育成が強く求められていることを踏まえ、実際に海外で企業インターンシップを経験し地域企業への貢献を目指す「海外インターンシップ」事業を大学コンソーシアム石川と連携して実施しています。(平成29年度派遣：タイ、ベトナムなど) 加えて、新しい地域を支える高度人材として、地域企業への留学生就職を支援するため、地域企業や自治体と連携して、地域企業を対象にした留学生雇用のための企業説明会や企業と留学生との交流会など、様々な施策を展開しています。

こうして、教育の実施に加えて学生の地域定着に向け地域の受け皿を確保するために、様々な定着事業を自治体や地域企業と協働して構築しています。



平成29年10月「観光人材育成コンソーシアム」の様子。



平成29年6月「留学生雇用に関する企業説明会」の様子。

### 「事業継続」に向けた企業との協働

平成29年度から、金沢大学COC+は日本コカ・コーラ株式会社(本社：東京都渋谷区)と連携し、地域発の起業イベントを開催します。

日本コカ・コーラ株式会社は、持続可能な事業は地域社会の持続可能性に支えられているという考えに基づき、サステナビリティの取り組みを積極的に推進しています。コカ・コーラシステムは、中でも特に地域課題解決に資する女性起業家の育成を支援しています(5by20(ファイブ・バイ・トゥウェンティ)事業)。

金沢大学COC+事業では、地域課題を解決し地域の持続性を担う人材養成をテーマとしており、起業教育にも取り組む本学COC+事業が日本コカ・コーラ社に評価され、新たな連携が始まりました。



地域思考型教育 + 派生プロジェクト = 地域定着

地域との協働による「受け皿づくり」

10%達成の最後の決め手はいしかわの声!

# 広報

## キャリア冊子 emotion

いま、「働く」という価値観が一層多様化し、「仕事」の意味も一人ひとりのライフスタイルによって異なります。それでも、自身のキャリアを考えるときに必ず通らなければならないプロセス、それは「仕事を通じて何を実現したいか」を考えること。その源泉となる「熱い思い＝“emotion”」を明確にするためのテキストを作成し、県内8大学の学生と関係者に配布しました。

協力者一覧(順不同): 中田ヤスタカ氏(音楽家)、本谷有希子氏(芥川賞作家・劇作家)、山内雅喜氏(ヤマトホールディングス社長)、澤田貴司氏(ファミリーマート社長)、宮森宏和氏(ゴゴカレー社長)、朽木浩司氏(マゼランリゾーツ社長)、渡辺キャロライン氏(珠洲焼作家)、雄谷良成氏(社会福祉法人佛子園理事長)



## 地学地就キャンペーン

COC+事業について地域のみなさんに知ってもらうため、石川県と連携し、地域で学び地域で働く意義について周知するキャンペーンを実施しました。平成28年度は、いしかわ学生定着推進協議会参加企業である「北國新聞社」の朝刊紙面に計4回の広告を掲出し、紙面を通して、いしかわで働くことについて家庭で考える機会を提供するとともに、事業認知度の向上に繋がりました。



## Webサイト いしかわには、夢がある <http://ishikawadream.org/>

若者に、石川県の魅力を多角的に発信するサイトとして、「いしかわには、夢がある - a Dream in Ishikawa -」を開設しました。この地で暮らし、働く人の言葉から土地のアイデンティティを描く、人と地域のウェブマガジン「i.d - ISHIKAWA DRAWER-」や、学生と社会人が交流しながら未来の地域を創造する「共創インターンシップ」など、県内で展開するさまざまなプロジェクトの最新情報に触れることができます。

このサイトを通じて地域の魅力と可能性を知り、もっといしかわを好きになる。そして、ずっといしかわにいたくなる。

「いしかわには、夢がある」は、大きな夢に向かって活動しています。



## 民間企業との連携による広報活動

コストシェアの観点も含め、補助期間終了後も、持続して広報活動ができるよう、民間企業との連携による広報プロジェクトも進めています。NTTタウンページ社と連携して、平成30年度に、石川県の企業と学生の就業・定着をテーマにした「いしかわ地方創生版タウンページ」(仮称)の発行を予定しており、全戸配布によりCOC+の趣旨を周知することを目指しております。

いしかわで **しか** できないことがある

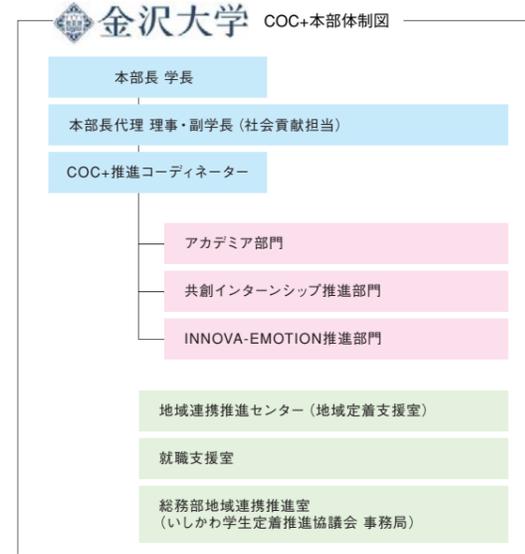


いしかわ学生定着推進協議会  
イメージキャラクター  
ていちゃくん



# 事業概要・まとめ

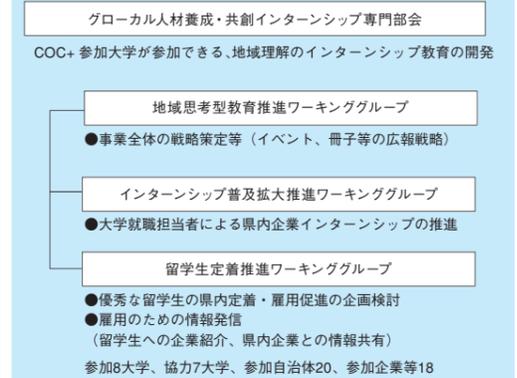
## ■実施体制



## いしかわ学生定着推進協議会

会長: 金沢大学長 / 副会長: 金沢工業大学長 / 会員: 事業協働実施機関の長

### 事業実施体制



## ■教育

### 地域思考型教育

国公立の参加8大学の専門性や個性に合った教育。インターンシップを開発し、各参加大学に開放。

○学生の地域理解を深め地域を支える人材の養成

ICT教材「地域創生概論」  
対象: 1年生 年間5,500人受講

共創インターンシップ  
対象: 2、3年生 年間2,000名参加

INNOVA-EMOTION  
対象: 2~4年生 4年間で100名輩出



○地域思考型教育ルーブリック

	発見力	分析力	展開力	行動力	国際力
地域創生概論	💡	💡			
共創インターンシップ	💡	💡	💡	💡	💡
INNOVA-EMOTION	💡	💡	💡	💡	💡

## ■地域定着促進・事業継続に資する派生事業

### 教育と密接に連携

・地域雇用の受け皿づくり

社会のニーズを的確に反映し、地域の産業界が求める人材雇用の受け皿をつくる。

・COC+の取組の周知活動

地域に必要な人材養成を社会に周知し、地域社会が一体となり連携を図る。

教育による地域定着を一層推進するため地域の声による雇用の受け皿づくり



観光人材の育成と定着



留学生の定着の推進

### 事業継続に向けた民間企業との協働事業

(株) NTTタウンページ

コカ・コーラ社



地方創生版タウンページの開発

女性が活躍できる社会支援プロジェクトとの連携

### 地方創生に資する地方大学の取り組みを紹介

戦略1 ウェブの活用	戦略2 メディアの活用	戦略3 協議会等の活用
---------------	----------------	----------------